

発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会  
委員長：福村 好美（長岡技術科学大学）

## 1. 会長 ご挨拶

会長 穂屋下 茂（佐賀大学）

大学 e ラーニング協議会は、発足して早や 5 年目を迎え、加盟大学 42 大学、賛助会員 5 社という規模になりました。このたび岡本敏雄先生の会長任期満了に伴い、2 代目の会長に就任することになりました穂屋下でございます。会長として微力ながら精一杯務めさせていただく所存です。これまでと同様に皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

私は、13 年前に全く実績のない e ラーニングという世界に飛び込んで以来、これまで無我夢中で e ラーニングを推進してまいりました。きっかけとなったのは、『マルチメディアを使った大きな教育改善の仕組みができないか』という、学長からの相談でした。これにこたえる形で、単位の取得できる VOD 型フル e ラーニングの展開に挑戦しました。これは『教員が授業に使える時間を一定とすれば、大教室での講義のような多人数教育は e ラーニングを利用することで、ゼミ形式の対面授業などの少人数教育を徹底させられる』ことを期待したものでした。ただ、現実是非常に厳しく、なかなか大学組織として利用する環境に至らなかったという思いがありました。そのような状況ではありましたが、この取組が現代 GP に採択されたことを契機に前会長の岡本先生をはじめ幹事校や加盟大学の皆様に出会い、e ラーニングの実践・拡大に向けて情報を共有しつつ研究を継続ができたことは一番の収穫だと思います。

昨今、日本の大学は教育改革が強く求められています。それは、FD/SD からはじまり、単位の実質化、CAP 制、GPA、アクティブ・ラーニング、ラーニングコモンズ、グローバル化など様々の教育改善にむけた方針が打ち出されていますが、根本的な教育改革に対する具体的な提案は乏しいと感じています。しかしながら、本協議会の活動においては教育改革の一助となるような成果もではじめております。会長就任に当たり、加盟大学の皆様へ本協議会が大学教育改革に貢献できるように、あらためてご協力お願い申し上げます。

## 2. 2014 年度代表幹事校 ご挨拶

2014 年度代表幹事校  
大手前大学  
情報メディアセンター長 畑 耕治郎

2014 年度は、大手前大学が大学 e ラーニング協議会の代表幹事校を務めます。18 歳以下の人口減少が進み大学淘汰が本格化されると言われる 2018 年問題を目前に控え、大学教育を取り巻く環境はますます厳しい状況になってきております。グローバル化、アクティブ・ラーニング、オープンエデュケーション、反転授業、タブレット活用等々、日々さまざまなワードが降り注がれ、大学強いては教職員への要求も難解で複雑なものになってきているように思います。

本協議会は、これらの問題解決に立ち向かっている大学、これから立ち向かおうとする大学が結集しており、このような加盟大学の皆様と「組織」としてつながりをもてるのが大きな特徴です。私ども大手前大学におきましても、学内の ICT 活用教育を推進するうえでこれまでたくさんのヒントを本協議会から頂戴し、この先も本協議会での交流や活動がこれらの難題を

解決する大きな足がかりになるものと確信しております。一大学では解決することが困難な多様な課題がひしめく今日、緩やかな大学連携の在り方を追求し、問題解決に取り組んでいる本協議会への期待はさらに高まってくるものと思います。本協議会の情報発信力を高めるとともに、加盟大学における ICT 活用教育の発展に寄与できるよう会長と事務局を中心に代表幹事校として活動していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

#### 【2014 年度 運営体制】

会長：穂屋下 茂（佐賀大学）

代表幹事校：大手前大学 監査校：岩手県立大学 事務局校：佐賀大学

幹事校：岩手県立大学 大手前大学 金沢大学 熊本大学 佐賀大学 信州大学

創価大学 千歳科学技術大学 帝塚山大学 長岡技術科学大学 山梨大学

### 3 . 総会・フォーラム 2013 開催報告

2013 年度代表幹事校  
佐賀大学 穂屋下 茂

2014 年 3 月 6 日（木） 7 日（金）佐賀大学本庄キャンパスで、総会・フォーラム 2013 が開催されました。本年度のフォーラムは、大学間連携共同教育推進事業「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」との合同フォーラムとして開催しました（大学 e ラーニング協議会は大学間連携共同教育推進事業のステークホルダーを務めています）。北海道から九州までの全国の大学から 130 名以上の多数の方に参加していただきました。

大学の授業は、実習や演習を除けば、一斉授業の形式で一方向授業が圧倒的に多く、復習・予習時間が非常に少ないことから、単位の実質化（1 単位 45 時間の学習時間の確保）が問題になってきています。そこに「反転授業」という言葉を耳にするようになりました。反転授業は、知識獲得などの学習は自宅で行い、大学では主体的に「批評する」「考える」「話す」機会を多くする協同学習等によりわからないところを学ぶ合うことを目的としています。

また、現在では、ICT 活用教育を推進されている大学は着実に増えています。ICT を活用すると、e ラーニング化された VOD 講義やドリル型教材等により、自宅でも学習できるようになります。つまり、ICT の活用方法次第で、通常授業がそのまま反転授業の形態に転換することが可能です。しかしながら、自宅で学習するのに適した教材が十分に揃っているとは言い難く、また ICT 活用教育の実施体制（LMS の整備やメンタの配置）などの問題点も多々あります。本フォーラムでは、ICT 活用教育の現状を明らかにしながら反転授業への可能性を探っていくために、統一テーマを「一斉授業から ICT 活用した反転授業へ」にして個人発表の募集を行いました。

本合同フォーラムは、1 日目は基調講演 2 件と情報交換会を開催しました。基調講演は、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長の猪股志野氏と、本協議会会長（開催時）の岡本先生にご講演をいただきました。情報交換会には 59 名のご参加をいただき、盛会となりました。2 日目は、幹事校ミーティング、総会のあと、反転授業をテーマに招待講演と個人発表（8 件）を行っていただきました。スケジュールは下記の通りでした。

#### 合同フォーラムスケジュール

1 日目：3 月 6 日（木）

基調講演 1

演題：大学間連携共同教育推進事業に期待すること

講師：文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長 猪股 志野

## 基調講演 2

演題：eラーニング、デジタル教科書、そしてMOOCs

講師：京都情報大学院大学教授・電気通信大学名誉教授 岡本 敏雄

情報交換会（於ホテルマリターレ創世佐賀）

2日目：3月7日（金）

幹事校ミーティング

総会

招待講演

演題：数学リメディアル教育におけるeラーニングの活用と効果

講師：岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授 高木 正則

個人発表（8件）

- ・大学数学科目における反転授業とTBLの試み  
発表者：佐賀大学 皆本 晃弥
- ・反転授業を導入した工学部専門科目における学生アンケートの回答と試験成績の対応  
発表者：山梨大学 森澤 正之
- ・プログラミング教育における反転授業の実践  
発表者：千歳科学技術大学 教林 康弘
- ・文系学生に対する数学の基礎力向上の試み  
発表者：北星学園大学 中嶋 輝明

1日目



フォーラム 1



情報交換会

2日目



総会



フォーラム 2

- ・ 8 大学連携の学修観アンケートを用いた解析と学びの特徴抽出の試み  
発表者：桜の聖母短期大学キャリア教養学科教授 加藤 竜哉
- ・ 初年次系科目における e ラーニングを利用したリメディアル・基礎教育の取り組み  
発表者：愛知大学 湯川 治敏
- ・ 創価大学の全学必修科目「学術文章作法」における ICT 活用の可能性  
発表者：創価大学 山下 由美子
- ・ 協同学習を取り入れた ICT 活用教育の実践報告 - 「教育デジタル表現」の事例  
発表者：佐賀大学 藤井 俊子

#### 4 . 連載企画「加盟大学の取組紹介」

##### 第 4 回 協議会加盟の 8 大学連携の取組

8 大学連携 代表幹事校  
千歳科学技術大学 小松川浩

今回は、現在加盟大学による連携事業（文部科学省 大学間共同教育連携推進事業 学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進）について紹介させて頂く。この事業は、北星学園、千歳科学技術大学、桜の聖母短期大学、創価大学、山梨大学、愛知大学、愛媛大学、佐賀大学といった国立・私立・四大・短大の連携の下で推進している。具体的な連携内容としては、初年次系の数学・英語・日本語・情報に関する習得すべき知識内容を大学間で検討し、共通のプレースメントテストの整備と大学間で利活用可能な知識習得のための e ラーニング教材の整備を図っている。英語は、TOEIC に準拠したテスト内容で、出版社のマクミラン提供のプリズムの e ラーニング教材を作成し、これを共通教材として利用するようにしている。日本語は、愛知大学を中心に作成した、語彙・短文読解等のレベル別の教材に準拠してテスト等を作成している。数学は、千歳科学技術大学の中学・高校の e ラーニング教材に山梨大学が作成している理工系の解析・線形代数・統計（データ解析含む）を組み合わせて、文系・理系対応で整備をしている。また情報は、日本情報科教育学会の研究チームと協働して高校範囲までに履修すべき情報の内容を網羅する形で整備をしている。さらに日本リメディアル教育学会の研究者の協力を得て、学習態度に関する自己診断テストを行える仕組みを構築した。一連のテストと教材のシステム運用は、大学 e ラーニング協議会で試行していたクラウド(Nifty)を拡張する形で利用している。

英語・数学・日本語・情報及び学習態度に関するプレースメントテストの結果は、学生一人一人に個票の形で返せるようにしている。各大学は、この個票を返却し、自らの振り返りを通じてキャリア教育で学ばせる、初年次系の科目での課外の学習支援で活用する、反転授業で活用する等、学生一人一人の主体的な学習に向けた活用を試み、そのノウハウを共有することになっている。現在事業開始後 2 年が経過し、プレースメントテストの実施やその後の個票の活用方法について具体的な検討を行っている段階である。なお、本事業の最終目標である学生の主体的な学びの実現には、学生の大学での学びにおける動機付け・目標設定が重要であることから、大学間での学生交流を通じた他者との関わりからの動機付けの可能性や、各学生の大学での学びの目標設定や学びの振り返りを行うポートフォリオ活用などもあわせて検証している。

さて、上記の取組の成果は、連携大学だけではなく、広く他大学にも公開・共有することが求められている。本大学 e ラーニング協議会は、この普及活動を担うステークホルダーとして位置づけられている。このため、8 大学連携では、適宜成果を協議会にお知らせして、取組趣旨に賛同頂ける大学と個別に連携を取るようにしている。例えば、加盟大学である岩手県立大学とは、一部プレースメントテストの共有と数学教材の活用を行って頂いている。数学教材の

活用では、リメディアル教育向けで反転学習の実施などを試みている。また、信州大学では初年次の情報科目において、8大学連携で整備したブレイスメントテストの活用とルーブリックの試行をお願いしている。

今後も8大学の成果を本協議会の加盟大学に公開し、共同利用を図っていきたいと考えている。興味を持って頂ける加盟大学は、年度末に実施する公開フォーラムに御参加頂き、情報共有を図り、是非ご連絡を頂きたい。

## 5. 2014年度協議会全体ミーティングのご案内 別途ご案内をお送りいたします

日時 2014年9月9日(火)

幹事校ミーティング 13:30~15:00 (幹事校のみ)

部会ミーティング 15:30~17:30 (受付開始 15:00)

9月10(水)日~9月12日(金)の日程で、和歌山大学において「教育システム情報学会(JSISE)全国大会」が開催されるため、この日程に合わせました。なお9月10日(水)に開催されるプレカンファレンスでは、第1部会の活動に関係するイベントも開催予定です。

会場 県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛(〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2)

会議室 501/502/503/504

<http://www.wakayamasposhin.or.jp/big-ai.html>

内容 幹事校ミーティング：2014年度総会・フォーラムについて

部会ミーティング：新部会での活動方針

部会ミーティングに参加される加盟校は、ミーティングにおいて部会へのご意見・ご要望をお聞かせください。

情報交換会

会場：しゃぶしゃぶ 日本料理 木曾路 和歌山店

和歌山県和歌山市北出島1-4-63 TEL:050-5796-2543

[http://www.kisoji.co.jp/kisoji/navi/shop\\_detail.asp?ShopNo=629](http://www.kisoji.co.jp/kisoji/navi/shop_detail.asp?ShopNo=629)

ミーティング会場 情報交換会場、情報交換会場 和歌山駅・和歌山市駅間はバス送迎の予定

会費：3,000円

## 6. 2014年度事業予定

### 1) 協議会全体ミーティングの開催(夏期) ※前掲

### 2) 「e-Learning Awards 2014フォーラム」への後援

開催時期：2014年11月12日(水)~14日(金)

<http://www.elearningawards.jp/index.html>

会場：御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター

(JR御茶ノ水駅聖橋口から徒歩1分・東京メトロ新御茶ノ水駅直結)

<http://solacity.jp/cc/index.html>

### ・上記フォーラム内での、公開フォーラムの開催

開催時期：2013年11月13日(木)午後を予定

開催内容：産学連携による持続可能なeラーニング(仮)

### 3) 総会・フォーラム 2014 の開催

開催時期：2015年3月13日(金)

会 場：大手前大学

## 7. 事務局からのご案内

### 会費納入のお願い

2013年度および2014年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願いたします。  
振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901  
口座名義：ダイガクイーラーニング研究会  
大学eラーニング協議会

### ■部会登録の確認

当協議会の活動の柱である部会の構成を本年度より変更いたしました。つきましては、加盟校の皆様は、どの部会での活動に登録されるかをメールにてお知らせいただくようお願いしております。ご連絡いただいた加盟校は、随時部会への登録を進めております。まだ回答されていない加盟校の方は、登録を希望する部会を事務局までお知らせください。

部会案内 URL <http://www.uela.org/section.html>

### ■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

加盟大学イベント案内 URL <http://www.uela.org/src/activity/activity.html>

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニュースレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

### 大学eラーニング協議会ニュースレター N0.9 (2014年7月15日発行)

事務局：佐賀大学 全学教育機構 穂屋下研究室  
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

連絡先：フォーム <http://www.uela.org/reference.html>

E-mail [uela\\_offices@googlegroups.com](mailto:uela_offices@googlegroups.com)

FAX 0952-20-4731

できるだけフォームまたはE-mailにてご連絡ください

大学eラーニング協議会：<http://www.uela.org/>